

昭和レトロ木製無垢建具



協同組合ウッドワーク



部屋全景



障子の組子には、ステンドグラスの「赤色ガラス」を組み込みました。



ドアは無垢の木製で、鏡板は一枚ものの杉です(樹齢150年くらい)
塗装はオイルステインのウレタン塗装。あえて艶ありの「びかびか」の仕上げにしました。
ドアの組子にもステンドグラスを入れました。ドアノブは輸入品の真鍮製です。



洋風な部屋の障子組子のステンドグラスです。



ドアの腰板の150年モノの杉の木目がよくわかります。
この板は平らではなく、ブラシをかけ木目が浮き出るようにしてあります。





白木仕上げの部屋です。建具も白木の仕上げです。

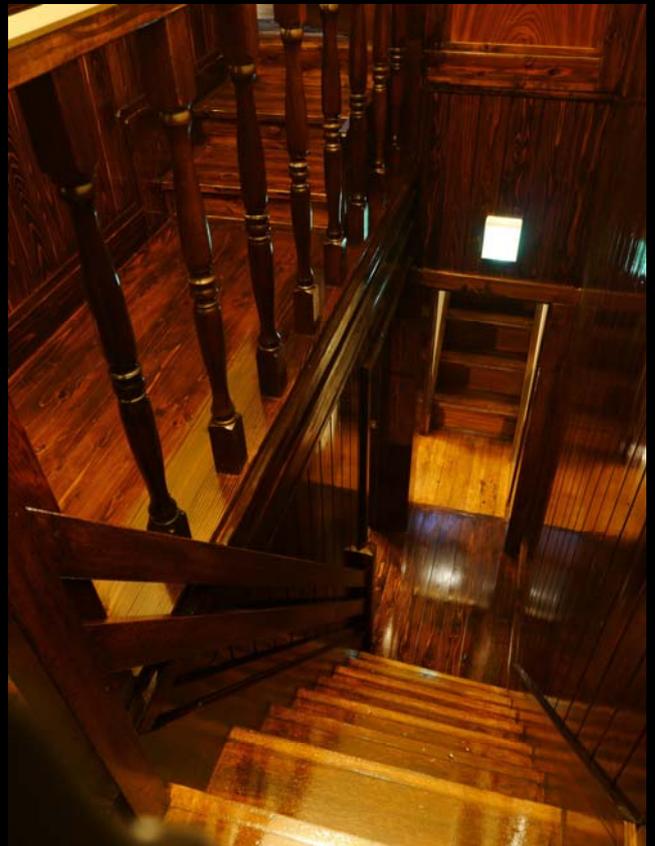


ドアの中に窓があるドアです。
ドアの向こうの「外光」を取り入れるため。





階段ホール・木製組子ステンドグラスの飾り窓



階段ホール・無垢ドア・組子ステンドグラス入りです。



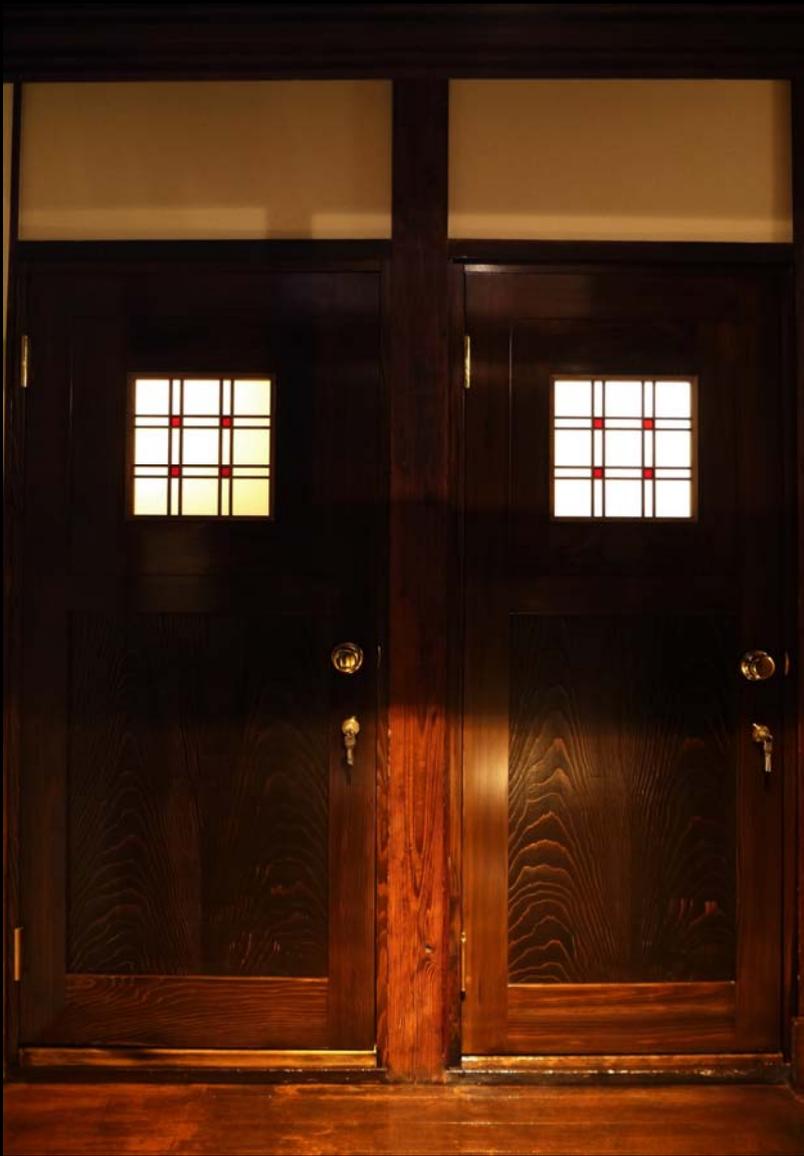
階段ホール





かつての直江津の路地をイメージした共用スペース。

古い建具を利用してLED電灯を仕込みました。路地の二階部分も再現。
窓の向こうに部屋はありません。大きな照明器具みたいなものです。



2階共用スペースから、既存の柱を活かし、建具を新設しました。



台所部分 シンクはあったものを利用し、建具と金物をすべて付け替えました。杉の間合いツマミは特注の真鍮製です。見違えます！



洗面ブース。洗面什器・床・ドア・腰壁はすべて無垢材のクリア仕上げです。



トイレドアの組子ステンドグラス



トイレは2箇所あります



風呂の建具

天井と壁は能登ヒバの無垢材。建具はヒノキ、浴槽はヒノキです。



すごくいい香りがします。



ガレージから 入り口部分を見他状態

町家雁木の風情に合わせて縦格子のつくりです。格子はウチソト両面で、内側の格子は横にスライド出来、すきまを広げたり狭めたり出来ます。(上の写真は開いた状態・下の写真はせばめた状態) 入り口扉は両引きの吊り戸です。150年の杉の無垢板でオイル仕上げです。170センチ程度開くので、大型バイクでも楽に入ります。



古い町並みの町家雁木に合わせた建具





